

大学等への修学支援の措置に係る学修計画書

学生番号		学生氏名	
学部・学科・学年	学部	学科	年

1. 学修の目的（将来の展望を含む。）

現在在籍中の課程での学修の目的はどのようなものですか。

次の(1)から(3)を参考にしつつ、その内容を記述してください。(200文字以上)

- (1) 将来に就きたい職業（業種）があり、その職業（業種）に就くための知識の修得や資格を取得するため。
- (2) 興味のある学問分野や実践的領域があり、それらに関する知識を習得し、理解を深めるため。
- (3) 将来、社会人として自立するための基礎的な能力を身に付けるため。

2. 学修の計画

前述の学修の目的の実現のために、今までに何をどのように学び、また、今後、何をどのように学びたいと考えているかを記述してください。(200文字以上)

-
3. あなたは、卒業まで学びを継続し、全うする意志を持っていますか。“全うしようとする意志がある”の口を■にした上で、どのような姿勢で学びに取り組もうと考えているかを記述してください。(200文字以上)
- 卒業まで学びを継続し、全うしようとする意志がある。
 - 卒業まで学びを継続し、全うしようとする意志はない。
-

2年次以上在学生のみのみ

4. 履修した授業科目における授業への出席率について、該当するものの口を■にしてください。
- 授業の出席率について、8割を超えている。
 - 授業の出席率について、5割を超えているが8割以下である。(警告要件)
 - 授業の出席率について、5割以下である。(廃止要件)
-

以下、教職員記入欄

総合判定結果

1. から 4. を総合的に考慮して、在学中の学修意欲等が認められるかを判定した結果、
- 在学中の学修意欲等があると認められる。
 - 在学中の学修意欲等があるとは認められない。

【記入例】 1～3の記述欄は適宜広げても構いません。(書ききれない場合は別紙としても構いません)

学生番号	B20T0000X	学生氏名	鳥大 太郎
学部・学科・学年	工 学部	0000 学科	2 年

1. 学修の目的 (将来の展望を含む。)

現在在籍中の課程での学修の目的はどのようなものですか。

次の(1)から(3)を参考にしつつ、その内容を記述してください。(200文字以上)

- (1) 将来に就きたい職業(業種)があり、その職業(業種)に就くための知識の修得や資格を取得するため。
- (2) 興味のある学問分野や実践的領域があり、それらに関する知識を習得し、理解を深めるため。
- (3) 将来、社会人として自立するための基礎的な能力を身に付けるため。

2021年4月時点の学年

在籍している学部・学科を選んだ理由や、将来なりたい職業がある方は、その理由とその職業に就くために必要と考えられる授業科目などを具体的に記述してください。
(具体的な職業等がない場合も“将来こんな風に働きたい”など) 200文字以上

2. 学修の計画

前述の学修の目的の実現のために、今までに何をどのように学び、また、今後、何をどのように学びたいと考えているかを記述してください。(200文字以上)

これまでに履修した授業の講義内容、講義を受けて自分なりに考えたこと、今後履修したい授業科目や分野などについて、自分から積極的に学ぶ意欲を持って、授業を真面目に受けていることが伝わるように記述してください。 200文字以上

3. あなたは、卒業まで学びを継続し、全うする意志を持っていますか。“全うしようとする意志がある”の口を■にした上で、どのような姿勢で学びに取り組もうと考えているかを記述してください。(200文字以上)

- 卒業まで学びを継続し、全うしようとする意志がある。
- 卒業まで学びを継続し、全うしようとする意志はない。

「卒業まで学びを継続し、全うしようとする意志がある」にチェックをし、
上記1及び2を踏まえて、記述してください。 200文字以上

例文

私の家はあまり裕福ではないですが、両親は、毎日遅くまで働いて、そのお陰で、私は大学に進学できました。そのことに感謝するとともに、大学においては、単位を取得するだけでなく、自分の夢に向かって、一つでも多くの知識を吸収していきたいと考えています。外国語の授業など、苦手な必須科目もありますが、社会に出てから役立つものなので、今まで以上に真剣に取り組んでいきたい。また、0000の講義は、私の目指す●●●(職業など)に必須のものであるため、しっかり学んでいきたい。

2年次以上在学学生のみ

4. 履修した授業科目における授業への出席率について、該当するものの口を■にしてください。

- 授業の出席率について、8割を超えている。
- 授業の出席率について、5割を超えているが8割以下である。(警告要件)
- 授業の出席率について、5割以下である。(廃止要件)